

奥村組成長の軌跡

技術を磨き、追求し、業界をリードする パイオニアとなる

受け継いだ100年を 新たな時代へとつないでいく

1907

歴史のはじまりは、 「挑戦する」 という決意

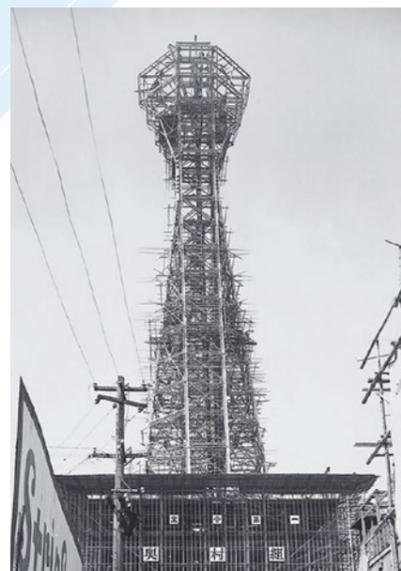


1907年(明治40年)2月22日。5日前に父が亡くなり、母と幼い弟や妹の生活が太平の肩にかかってきた。「いかなる難局でも飛び込んで忍耐する覚悟がある。他人が難しがって尻込みするような業務に就きたい」このような決意を持って土木建築請負業の世界に入る。奥村組創業者・奥村太平27歳の旅立ちであった。

1955

浪花のシンボル 通天閣を施工

戦時中に解体された通天閣の復活を願う地元新世界の人々の熱意に応え、再建に取り組んだ。1955年8月の着工以来、連日連夜の作業で延べ2万5,000人の作業員を動員する約1年の超突貫工事の末、高さ103mの「二代目通天閣」が無事完成した。



1965

日本初

持続的な成長を支える技術

▶1965

日本初、泥水式シールド工法「OCMS工法」(Okumura Circulation Mechanical Shield)を開発

▶1986

日本初、実用免震ビル完成

他社に先駆けて免震構法を実用化することを目的として、1980年に免震の研究に着手。奥村組が実用免震ビルを建設するという情報が流れると、免震への注目が急に高まり、その後、大手各社が次々と免震ビルの建設に参入した。



1996

世界初

さらなる技術の追求

▶1996

世界初、国宝を守る免震展示ケース

▶2000

世界初、灯台のレンズ免震装置

▶2001

世界初、全断面斜坑TBMで貫通

長大斜坑を短期間かつ経済的に施工するため、世界で初めての試みである全断面を一度にTBMで掘削する工法を採用した。

2007

創業 100周年



創業100周年を迎えられたことに感謝の気持ちを込め、ゆかりの深い奈良の地に「奥村記念館」を開館。

堅実に、誠実に、進み続ける

さらなる百年に向け、これからも先人をして培われた「堅実経営」、「誠実施工」という良き伝統を踏襲しつつ、変化をおそれず新たな価値を創造することで、時代の要請にしっかりと応えていく決意を新たにした。

2016

免震を、 前進させよ

技術研究所
管理棟において、
竣工30年目の免震性能
を実験により確認



2016年10月20日の日本経済新聞朝刊に掲載された15段広告